

## イベント／ワークショップ

**こども＋おとな＋夏の美術館**

7/22[土]～8/27[日]

会期中、様々な体験活動やワークショップを行います。

**美術館アートまつり**

3/10[日]　10：00～12：00／13：00～15：00

簡単な工作やゲームなど様々なプログラムを楽しめる1日です。

### レクチャー／ギャラリートーク

**ミュージアム・レクチャー**

「創作において自由なる競創」展会期中、関連したテーマによる連続講演会等を予定しています。

**サンデー・ギャラリートーク**

毎月第2日曜日(4、9、1、2、3月を除く)　14：00～14：40

学芸員がコレクション展示作品について解説します。

＊その他、各展覧会の関連事業として記念講演会、学芸員による作品解説会等を予定しています。

### こども・ファミリー向け事業

**こどもアートツアー**

5、6、10、12月の第3土曜日　14：00～15：00

小中学生を対象に、アートカードを使ったゲームや対話形式による作品鑑賞を行います。親子での参加も歓迎します。

＊都合により中止となる場合があります。

**ファミリータイム**

開館中の毎月第2、4木曜日　9：30～12：00

小さなお子様連れが気兼ねなく展覧会鑑賞ができる親子優先時間帯です。

### ボランティアによるイベント等

**ボランティアによる作品解説**

美術館ボランティアがコレクション展示について随時解説します。

### 学校との連携プログラム

学校団体の見学サポート、出張授業、教員対象研修などを行っています。

＊要申込

#### ＊詳細についてはお問い合わせください。

＊記載内容については変更することがあります。

#### 群馬県立近代美術館友の会

美術館を支援する団体です。入会すると以下の特典があります。

■「群馬県立近代美術館」と「群馬県立館林美術館」で開催される展覧会のうち、両館あわせて2回(半期会員は1回)を無料で、それ以外は半額で観覧できます。

■「高崎市美術館」、「高崎市タワー美術館」、「高崎市山田かまち美術館」を団体割引相当額で観覧できます。

■上記5館の展覧会や会員限定イベントなどの情報が定期的にお手元に届きます。

■賛助会員は、上記のほか近代美術館のレセプション招待や会報及び館内等での会員名紹介(希望者のみ)などの特典があります。

会員種類と年会費(有効期間は4月1日～翌年3月31日)

□一般会員(個人)2,000円　半期会員 1,000円(10/1～翌年3/31)

□学生会員(高校・大学・各種専修学校在学中の個人)1,000円

□家族会員(同居2人分)3,000円(3人以上は1人あたり1,000円追加)

□個人賛助会員　1口 10,000円　1口あたり会員証5枚

□法人賛助会員　1口 20,000円　1口あたり会員証10枚

## 利用案内

**開館時間**　9：30～17：00(入館は16：30まで)

**休館日**　月曜日(休日の場合はその翌日。5/1、8/14、11/27、12/11、12/18は開館)、年末年始

展示替・メンテナンスのための休館日(カレンダーに記載)
施設改修工事等のための休館日(12/20～3/1)

**観覧料** **企画展示**

展覧会によって異なります。なお、企画展示の料金でコレクション展示もご覧いただけます。

**特別展示・コレクション展示**

一般300(240)円、大高生150(120)円

※( )内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、群馬県民の日(10/28)に観覧される方は無料です。

**割引** **「共通パスポート」**(一般5,230円)　県有施設に1年間フリーで入場できるパスポート

**「ぐーちよきシニアパスポート」**　平日のみ、県内在住65歳以上の方が利用できるパスポート(2割引)

※チケット窓口にて販売・発行しています。

**施設**　ミュージアム・ショップ、絵本コーナー「えほんの森」
レストラン「森のレストラン　ころむす」(Tel. 027-346-5500)
講堂、茶室(貸出可。詳細はお問い合わせください。)

**設備**　車いす／多目的トイレ(1F)／ベビーカー／おむつ替え台／授乳・救護室／コインロッカー／エレベーター

### 交通案内

**電車・バス**

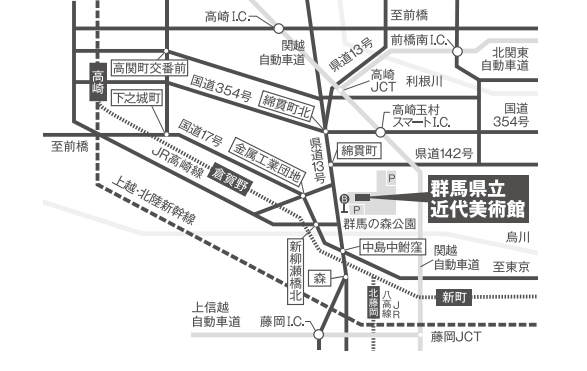
JR高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線で高崎駅下車(新幹線は東京駅より約60分)。JR高崎駅東口より、市内循環バスぐるりん「群馬の森線」9系統(約38分)、10系統(約26分)、または「岩鼻線」15系統(約25分)で、いずれも「群馬の森」下車。

**タクシー**

JR高崎駅東口より約20分。JR倉賀野駅より約10分。JR新町駅より約10分。

**車**

上信越自動車道「藤岡I.C.」高崎方面出口より出て、県道13号を前橋方面に約10分。関越自動車道「高崎玉村スマートI.C.」(ETCのみ)より高崎方面に向かい、県道13号を藤岡方面に約8分。北関東自動車道「前橋南I.C.」より県道13号に出て、藤岡方面に約15分。県立公園「アイ・ディー・エー群馬の森」駐車場をご利用ください(無料)。



表紙：杉浦非水「非水図案絵葉書」より(部分)　1915-16年頃　愛媛県美術館蔵(「杉浦非水 時代をひらくデザイン」展出品作品)



〒370-1293 群馬県高崎市総貫町992-1

Tel.027-346-5560 Fax.027-346-4064 https://mmag.pref.gunma.jp/

## 事業案内

2023.4→2024.3

### 2023.4→2024.3

## おもな展覧会の内容

■企画展示　■特別展示

### 杉浦非水 時代をひらくデザイン

2023年4月22日[土]—6月18日[日]　展示室 1

観覧料：一般900(720)円、大高生450(360)円

杉浦非水(1876-1965)は明治から昭和にかけて活躍した日本のグラフィックデザインの第一人者です。愛媛県松山市に生まれ、上京して東京美術学校に学んだ非水は、黒田清輝がフランスから持ち帰った資料を目にしたことをきっかけに図案家の道へと進みます。三越呉服店ではPR誌や宣伝ポスターを手がけてブランドイメージの創出に寄与し、さらには、図案集の作成やデザイン雑誌の刊行を通して日本のデザイン意識の普及、醸成に大きな役割を果たしました。本展では愛媛県美術館のコレクションを中心に、ポスターや図案、装丁の仕事、スケッチ、『非水百花譜』などの作品、インスピレーションの源となった資料を含めた300点以上により非水の生涯にわたる功績を紹介します。

### オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち　ディーン・ポーエン展

2023年7月8日[土]—8月27日[日]　展示室 1

観覧料：一般800(640)円、大高生400(320)円

オーストラリアのメルボルンを活動の拠点とするディーン・ポーエン(1957- )は、「アール・ブリュット」で知られるジャン・デュビュッフェに影響を受け、オーストラリアの風土と自然を、その自由な想像力とユーモアで素朴ながら力強く表現するアーティストです。版画、油彩、水彩、ブロンズ彫刻、廃材アサンブラージュ、アーティストブック(ポートフォリオ)など幅広い表現を追求しています。作品には、オーストラリア固有のコアラやウォンバットをはじめ、犬、猫、鳥や昆虫といった生き物と、旅を連想させる自動車や飛行機、船といった乗り物、そして人々や街並みがよく登場します。作品約150点とともに、可愛いモチーフにこめられた自然や命へのまなざしをお楽しみください。

### 創作において自由なる競創—19、20世紀の芸術家とポスター

2023年9月16日[土]—11月12日[日]　展示室 1

観覧料：一般800(640)円、大高生400(320)円

18世紀末に登場したポスターという新たな広告媒体は、芸術家たちに活躍の場を広げる機会をもたらしました。19世紀以降、街角に欠かすことのできない広告となったポスターの魅力に惹かれた芸術家たちは、互いに競うように観る人の印象に残る、想像力豊かで、ときに遊び心のあるポスターを創り出していきます。この展覧会では、主に20世紀の画家たち、ピカソ、マティス、シャガール、ミロなど約100名による約175点により、色鮮やかで心躍るポスター作品の豪華競演をお楽しみいただけます。

### 鈴木ヒラク「今日の発掘」

2023年9月16日[土]—12月19日[火]　展示室 4、5

観覧料：一般300(240)円、大高生150(120)円

鈴木ヒラク(1978-)は2008年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了後、シドニー、サンパウロ、ロンドン、ニューヨーク、ベルリン等で滞在制作を行い、現在は同大学院美術研究科グローバルアトリエプラクティス准教授を務めながら国内外で作品を発表しています。鈴木は線を描く行為＝ドローイングを「発掘」になぞらえ、平面、彫刻、映像、インスタレーション、パフォーマンスなど多彩な手法を駆使して、その表現の可能性を拡張してきました。今回は、多孔質の溶岩を画面に取り付けた新作絵画によるインスタレーションを中心に、描くこと／書くことの起源を人類史以前の領域まで掘り下げ、宇宙規模の時空間において未知なる線を見いだすを試みます。会期中、作家によるライブ・ドローイングを予定しています。

### 長谷川潔 銅版画の世界

2024年3月2日[土]—4月7日[日]　展示室 1

観覧料：一般300(240)円、大高生150(120)円

長谷川潔(1891-1980)は1918年、27歳でフランスへ渡り、以後一度も帰国することなく様々な銅版画の技法で制作を続けました。とりわけ17世紀に発明されたマニエール・ノワール(メゾチント)を独自の技法で復活させた作品群は現在まで高く評価されています。今回は、当館に新たに寄託された個人コレクションにより、渡仏以前の木版画や鉛筆デッサンなど貴重な作品を含め、長谷川潔の詩情豊かなモノクロームの世界をご堪能いただけます。

＊観覧料の( )内は20名以上の団体割引料金



